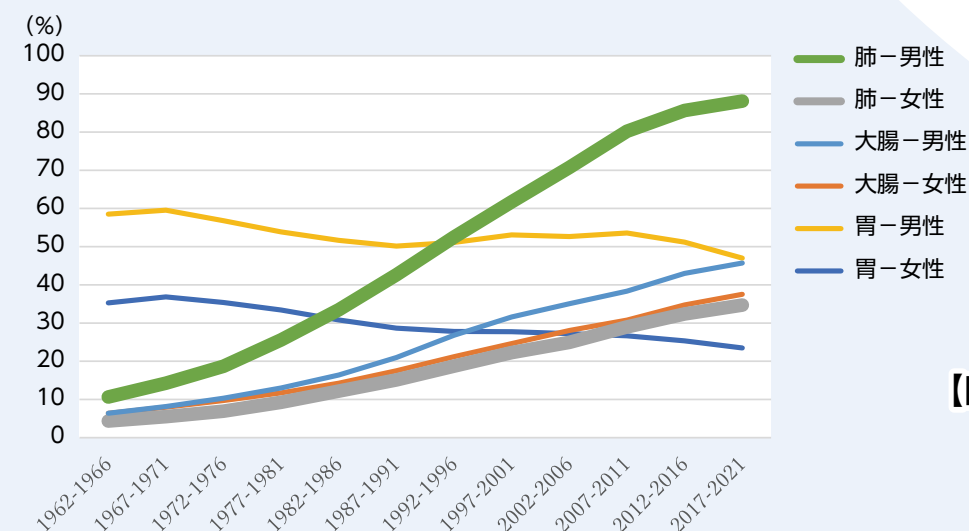
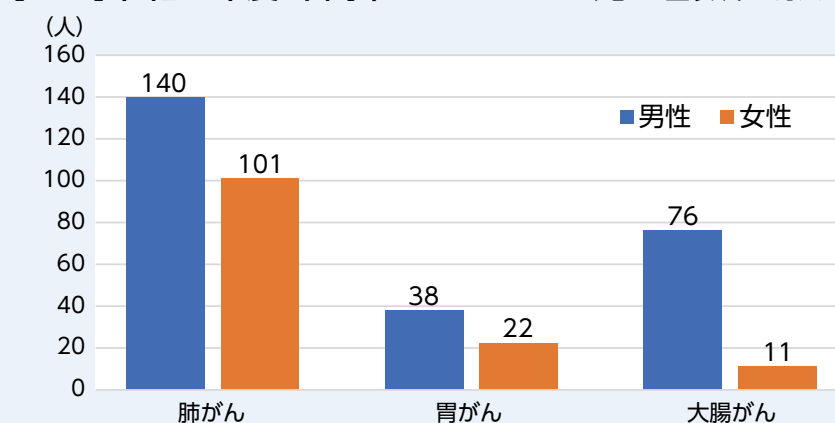


【図2】全国の部位別がん死亡率の推移（人口10万人対）

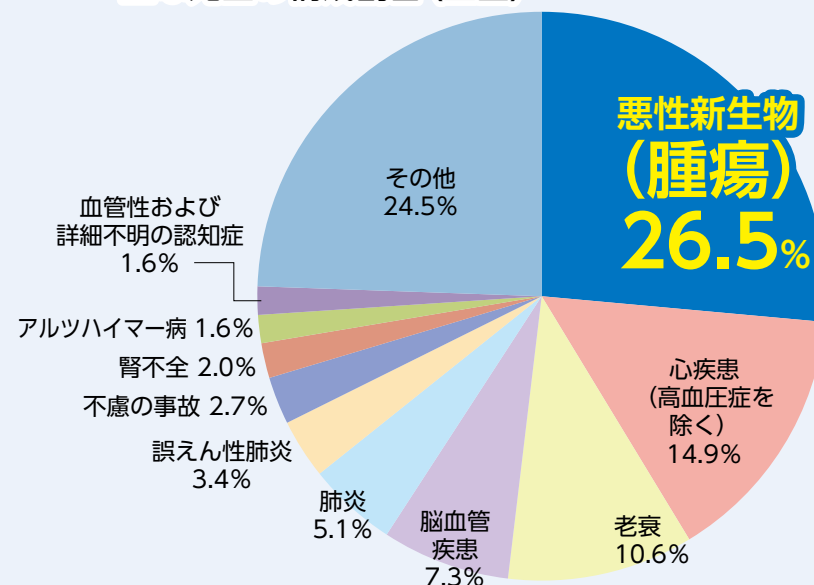


【図3】令和3年度 串間市におけるがん死亡者数(10万人対)



今年も「がん検診」の季節がやってきました！

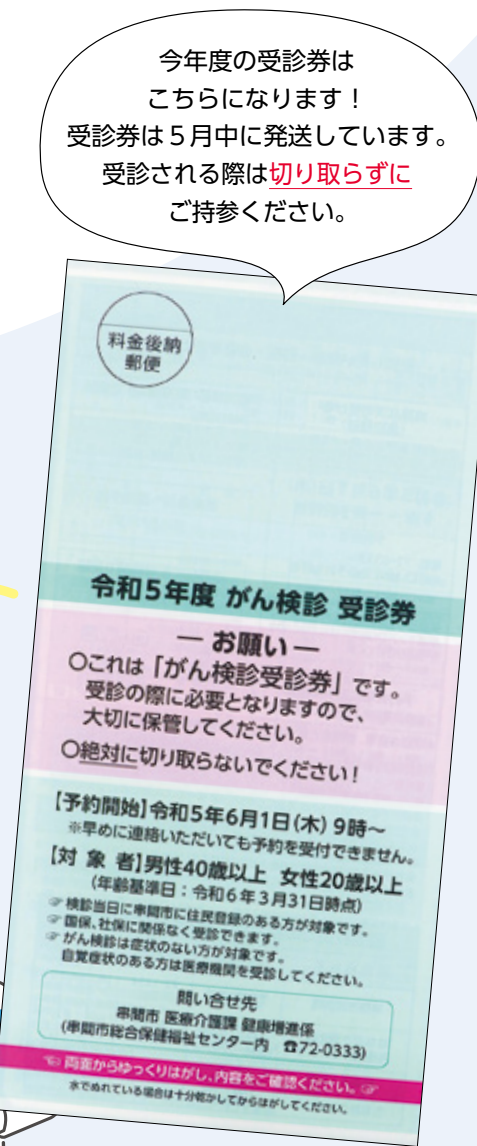
【図1】令和3年度 主な死因の構成割合（全国）



100歳健康社会 実現のために

6/1(木)から検診スタート！

毎年6月1日からがん検診の予約が開始されます。お手元に「令和5年度がん検診受診券」は届いていますか？今年の検診は盛りだくさん！本市で実施する各種検診は次の通りです。



検診一覧

検診種類	検診内容	受診できる年齢	注意事項
胃がん検診	バリウム検査	40歳以上	いずれか1つのみ受診可能です。重複して受診した場合、検査料を負担していただきますのでご注意ください。
	胃がんリスク検査	40、45、50、55、60、65、70歳の方	
	胃内視鏡検査	50歳以上	
大腸がん検診	便潜血検査	40歳以上	今年から65歳以上の方も受診できるようになりました。
肺がん検診	肺ヘリカルCT検査	40歳以上	
子宮頸がん検診	細胞診検査	20歳以上	乳房超音波検査（エコー検査）を同時受診できる日程があります。
乳がん検診	マンモグラフィー検査	40歳以上	

各地区を巡回する「バス検診」と医療機関で受診する「個別検診」が選択できます。本市が実施するバス検診は、**完全予約制**。「電話」「窓口」「LINE」の3つの方法で予約を受け付けています。

今年は、乳がん、子宮頸がん検診のバス検診も実施いたします。また、昨年まで年齢制限があった「肺がん検診」の年齢制限を撤廃いたしました。予約枠に限りがありますので、早めのご予約をお願いいたします。

肺がんが増えてきている？

日本人の死因第1位は「がん」であることは皆さんご存じだと思います。令和3年度の主な死因の構成割合のうち、約4分の1を占めるのが「がん」です（図1）。がんは医学の発展により早期発見・早期治療ができれば9割以上が治る病気となりました。実際、胃がんで亡くなる方は減少傾向にあります。

一方で、肺がんで亡くなる方は年々増加し、特に男性の死亡者数は、女性の約1.5倍にもなります。また、大腸がんについても、男女ともに緩やかに増加傾向となっています（図2）。

本市においても、肺がんの死亡率は突出して増加しており、胃がんの約3倍です（図3）。男性が多い傾向は全国と変わりません。そこで受診して欲しい検診があります。それは「肺がんヘリカルCT検査」です。



本市が実施している検査は、CT検査を用いた検診になります。首元から腹部中部までをらせん状に輪切りにした画像から病変を見つける検査になります。非常に精密な検査になりますので、初期のがんを見つけることが可能です。昨年度までは、40歳～64歳の方限定で実施しておりましたが、今年度から年齢制限の上限を撤廃しました。例年人気の検診になりますので、早めのご予約をお待ちしております。

がん検診を受けて欲しい理由！！

現在、がんは治る病気となってきましたが、それは早期発見・早期治療ができるからです。がんを見つける方法は、「がん検診」を受けることが第一です。早期のがんは、自覚症状がないことが多いので、気付いたときには進行していたということも……。進行していた場合、大きな手術が必要

だったり長い治療期間が必要となることもあります。しかし、早期発見・早期治療ができれば治療期間の短縮やさまざまな治療方法の選択が可能になります。ご自身のため、ご家族のためにがん検診を受けませんか？